



令和7年度

弟子屈町立美留和小学校 グランドデザイン

美小教育理念

児童が学びたい(学んでよかった)
保護者が学ばせたい(学ばせてよかった)
教職員が働きたい(働いてよかった)
地域が支えたい(支えてよかった)
そんな美留和小の創造

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
北海道教育推進計画
釧路管内教育の推進

弟子屈町教育行政方針
弟子屈町教育のめざす姿
学校、課程、地域社会が
連携し、ふるさとを創る人
を育む
地域・保護者の願い

～学校教育目標～

よく考える子ども
助け合う子ども
がんばりぬく子ども
進んで仕事をする子ども
強いからだの子ども

～目指す子どもの姿～

「いい目」で学習する子ども
「いい耳」で友達や先生の話聴く子ども
「いい心」で友達や先生と接する子ども
「いい口」で自分の思いや考えを述べる子ども
「いい鼻」で地域の良さを感じる子ども
「いい体」で明るく元気に過ごす子ども

～目指す保護者の姿～

「いい目」で児童の成長を見守る保護者
「いい耳」で児童や教職員・地域の方々の話を聴く保護者
「いい心」で児童や教職員・地域の方々と接する保護者
「いい口」で児童の成長を評価する保護者
「いい鼻」で地域の良さを感じる保護者
「いい体」で明るく元気に行事に参加する保護者

～目指す教職員の姿～

「いい目」で児童に指導する教職員
「いい耳」で児童や同僚・地域の方々の話を聴く教職員
「いい心」で児童や同僚・地域の方々と接する教職員
「いい口」で児童を褒め、認め、励ます教職員
「いい鼻」で地域の良さを感じる教職員
「いい体」で明るく元気に働く教職員

～目指す地域の姿～

「いい目」で学校の教育活動を見守る地域
「いい耳」で学校の教育活動の様子を聴く地域
「いい心」で学校を支援する地域
「いい口」で学校を評価する地域
「いい鼻」で学校の良さを感じる地域
「いい体」で明るく元気に学校行事に参加する地域

子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育

- ①SDGs・ESDの推進
- ②幼児教育の充実
- ③新しい時代に必要となる資質・能力の育成
- ④特別支援教育の充実
- ⑤STEAM教育の推進
- ⑥キャリア教育の推進
- ⑦体力・運動能力の向上
- ⑧健康教育・食育の充実
- ⑨道徳教育の充実
- ⑩ふるさと教育の充実
- ⑪グローバル人材の育成

学びの機会を保障し、質を高める環境

- ⑫ICTの活用促進
- ⑬いじめ防止の取組の充実
- ⑭不登校児への支援の充実
- ⑮教員の養成・採用・研修の一体的な改革
- ⑯働き方改革の推進
- ⑰学びのセーフティネットの構築

地域と歩む持続可能な教育

- ⑱地域と学校の連携・協働の推進
- ⑲生涯学習・社会教育の振興
- ⑳安全・安心な教育環境の構築
- ㉑芸術文化の推進

特認校としての特色ある教育活動

インクルーシブ教育システムの構築

学校課題

子ども一人一人の個性(良さ)を認め、
伸ばしていく教育の充実

地域は、美しい自然に囲まれており、住民相互の連帯意識が強く、自治会や美留和ラブの会等とともに学校に協力してくれている。

児童は、総じて明るく元気が良い。特別支援学級在籍児童の割合が高く、教職員の深い児童理解・児童支援・寄り添いが必要不可欠である。さらに、特認校であるため、本校の教育活動に大きく期待して入学・通学している児童(保護者)が多く、学校はその期待に応えていく必要がある。

本校は、特認校である。児童がいなければ存在価値がない学校でもある。100余年の歴史の中で脈々と受け継がれている美留和小学校らしい魅力と特色ある教育活動を続け、今までと同じく、児童・保護者・地域、さらに加えて、教職員にも愛される学校であり続けたい。

保護者・美小PTAサポーターズ・地域・自治会・学校運営協議会・町教委・弟子屈町